



「青森県こ道橋連絡会議」を設立しました ～道路をまたぐ施設の安全性向上に向けて～

道路施設の老朽化対策については、平成26年5月23日、「青森県道路メンテナンス会議」を設立し、県内の各道路管理者が連携を図りながら取り組んでいるところです。平成27年1月9日(金)に開催した「第3回青森県道路メンテナンス会議」において、道路利用者や第三者への重大事故防止の観点から、道路施設のみならず、道路をまたぐ施設(こ道橋等)についても安全確保に取り組むことを確認し、「こ道橋連絡会議」を設置することとしていました。

これを受け、平成27年3月20日(金)、青森河川国道事務所において、「青森県道路メンテナンス会議」の専門部会として、県内の緊急輸送道路をまたぐこ道橋等の施設管理者と、道路管理者からなる「青森県こ道橋連絡会議」を設立しました。

こ道橋等の老朽化に備え、施設管理者と道路管理者が、各施設の管理状況の情報を共有し、施設管理者の点検・補修について調整を進め、道路利用者の安全確保を図っていくこととしました。

※会議は、青森県緊急輸送道路ネットワーク計画における緊急輸送路の上を横断する鉄道橋を除く道路法上以外のこ道橋等の施設を対象にしています(農道、林道、水管橋等)。



▲道路をまたぐ施設の例(こ道橋)



▲会議の様子

～「道路施設の老朽化対策」について～

「青森県道路メンテナンス会議」における取り組みを含む東北地方整備局管内の道路施設の老朽化対策については、ホームページでもお知らせしています。

http://www.thr.mlit.go.jp/road/panel/panel_web3/index.html